

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 2 年 3 月 5 日 (2020.3.5)

【公開番号】特開 2018-140601 (P2018-140601A)

【公開日】平成 30 年 9 月 13 日 (2018.9.13)

【年通号数】公開・登録公報 2018-035

【出願番号】特願 2017-37614 (P2017-37614)

【国際特許分類】

B 3 2 B 37/12 (2006.01)

B 2 9 C 65/48 (2006.01)

G 0 2 F 1/1333 (2006.01)

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

C 0 3 C 27/10 (2006.01)

C 0 9 J 4/02 (2006.01)

C 0 9 J 133/00 (2006.01)

C 0 9 J 11/06 (2006.01)

C 0 9 J 5/00 (2006.01)

B 0 5 D 7/24 (2006.01)

B 0 5 D 1/36 (2006.01)

B 0 5 D 3/06 (2006.01)

B 3 2 B 38/18 (2006.01)

【 F I 】

B 3 2 B 37/12

B 2 9 C 65/48

G 0 2 F 1/1333

G 0 9 F 9/00 3 4 2

C 0 3 C 27/10 E

C 0 9 J 4/02

C 0 9 J 133/00

C 0 9 J 11/06

C 0 9 J 5/00

B 0 5 D 7/24 3 0 1 T

B 0 5 D 1/36 Z

B 0 5 D 3/06 C

B 0 5 D 7/24 3 0 2 Z

B 3 2 B 38/18 F

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 1 月 22 日 (2020.1.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 0 】

また、工程 (C) は、上述したように第 2 の樹脂組成物 8 を加熱することを含む。第 2 の樹脂組成物 8 を加熱することにより、第 2 の樹脂組成物 8 が減粘された状態で塗布領域 7 に充填される。これにより、第 2 の樹脂組成物 8 中の気泡を防止し、短いタクトタイムでの貼合せが可能となる。加熱条件は、第 2 の樹脂組成物 8 の粘度が低粘度 (例えば例え

ば 3 0 0 0 m P a ・ s 以下) に調整されるように設定することが好ましい。例えば、加熱温度は、画像表示部材 2 や光透過性部材 3 への熱による影響を考慮して、8 0 以下が好ましく、6 0 ~ 8 0 がより好ましい。加熱時間は、例えば、3 0 分 ~ 3 時間程度とすることができる。加熱のタイミングは、画像表示部材 2 と光透過性部材 3 との貼合せ前に行ってもよいし、貼合せ際に行ってもよいし、貼合せ後に行ってもよい。加熱方法としては、例えば、加熱ヒータ等を用いる方法等が挙げられる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 9】

[単官能モノマー]

I S T A : イソステアリルアクリレート、大阪有機化学工業社製

M - 1 1 1 : ノニルフェノール E O 変性アクリレート、東亜合成社製

M - 1 1 3 : ノニルフェノール E O 変性アクリレート、東亜合成社製

M - 1 1 7 : ノニルフェノール P O 変性アクリレート、東亜合成社製

M - 1 2 0 : 2 - エチルヘキシル E O 変性アクリレート、東亜合成社製

M - 1 0 1 A : フェノール E O 変性アクリレート、東亜合成社製

M - 1 0 2 : フェノール E O 変性アクリレート、東亜合成社製

M - 1 0 6 : - フェニルフェノール E O 変性アクリレート、東亜合成社製

M - 1 1 0 : パラクミルフェノール E O 変性アクリレート、東亜合成社製

M - 1 4 0 : N - アクリロイルオキシエチルヘキサヒドロフタルイミド、東亜合成社製

M - 5 7 0 0 : 2 - ヒドロキシ - 3 - フェノキシプロピルアクリレート、東亜合成社製

I B X A : イソボルニルアクリレート、大阪有機化学工業社製

H P A : ヒドロキシプロピルアクリレート、大阪有機化学工業社製